

ESD推進ネットワーク全国フォーラム2019
SDGsを達成していくための人づくり:ESDfor2030を見据えて

セッション3:グループディスカッション

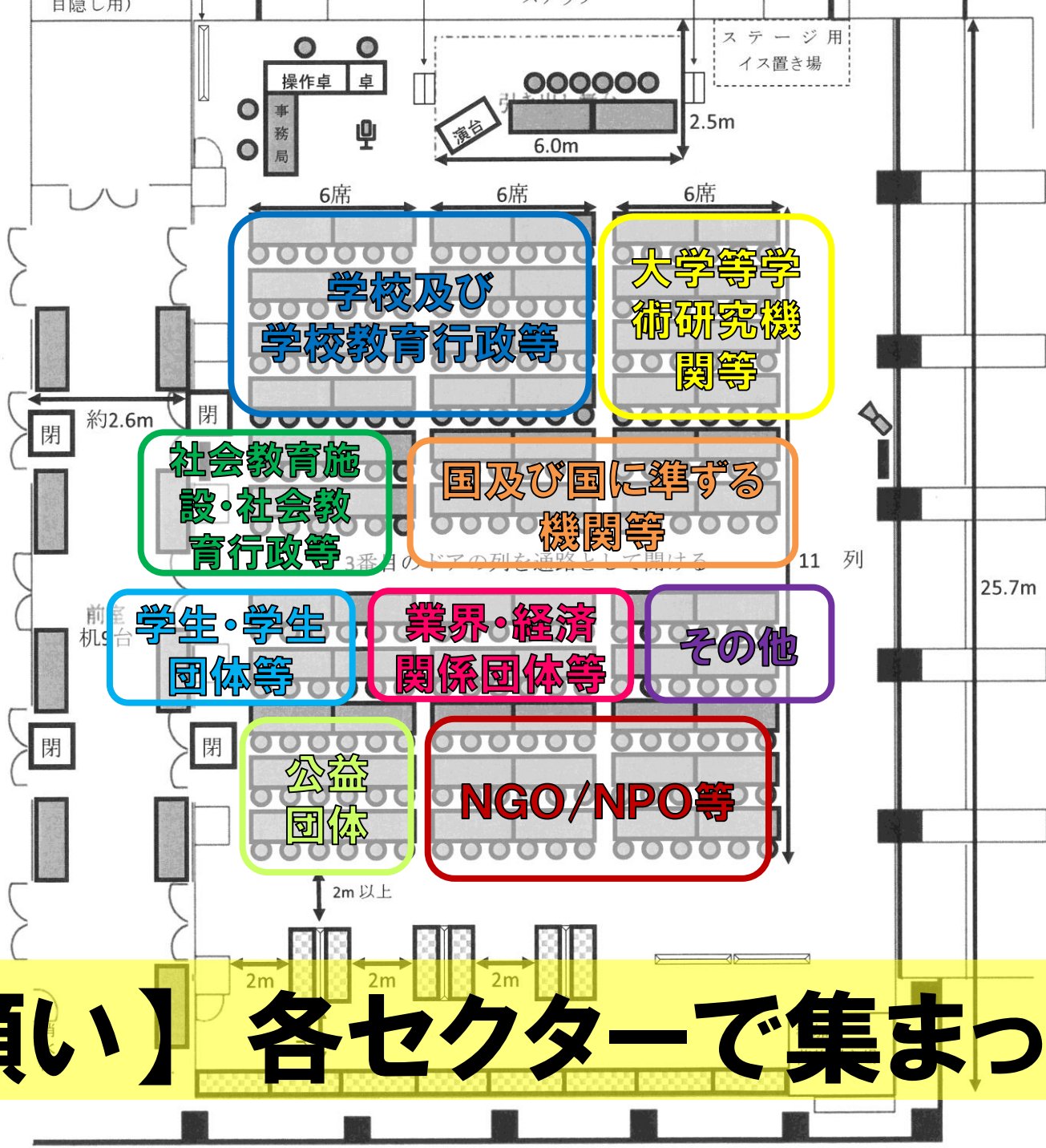


地域でESDを広め、 深めるための課題と工夫

2019年12月20日(金)

ひろしまNPOセンター・中国地方ESDセンター

松原 裕樹



【お願い】 各セクターで集まって座る

オリエンテーション

全国フォーラム2019 全体概要

1
日
目

■セッション1 ■
ESDの国際動向・国内動向
◎文部科学省◎環境省

■セッション2 ■【パネルディスカッション】
SDGsを地域で達成していくための人づくりと
そのためのネットワークのさらなる展開
◎教育委員会◎学校◎社会教育◎自治体◎企業

■セッション3 ■【グループディスカッション】
地域でESDを広め、深めるための課題と工夫
◎参加者全員

2
日
目

■セッション4 ■【分科会】
「ESD for 2030」を見据えたESD推進の在り方
◎参加者全員

■セッション5 ■【全体総括】
◎参加者全員

ESD全般、また、ESD推進ネットワークに
ついて振り返り
+今後のワク組みの共有

各セクター代表からの
実践上の「成果」と「課題」
および
「提案」

参加者それぞれの視点・経験からの
「成果」「課題」
共有と
「提案」

各テーマの視点・経験からの
「成果」「課題」
共有と
「提案」

フォーラム二日間の意見交換から
次期国内実施計画への提案に
つながる事項の
取りまとめ

OUTCOMES (目標)

実感する

ESDの広がりと深まり

整理する

これまでの成果とこれからの課題

高め合う

相互啓発やノウハウ交流

AGENDA（スケジュール）

グループワーク《前半》

「ESD実践の

成果・課題をわかしあう」

グループワーク《後半》

「2030年に向けて

ESDで目指すことを探る」

RULE (心がまえ)

Listen 聞く・聴く

Open 心をひらく

Voice 声に出す

Enjoy 楽しむ

RULE (心がまえ)

Listen

聞く・聴く

Open

心をひらく

Voice

声に出す

Enjoy

楽しむ

RULE（心がまえ）

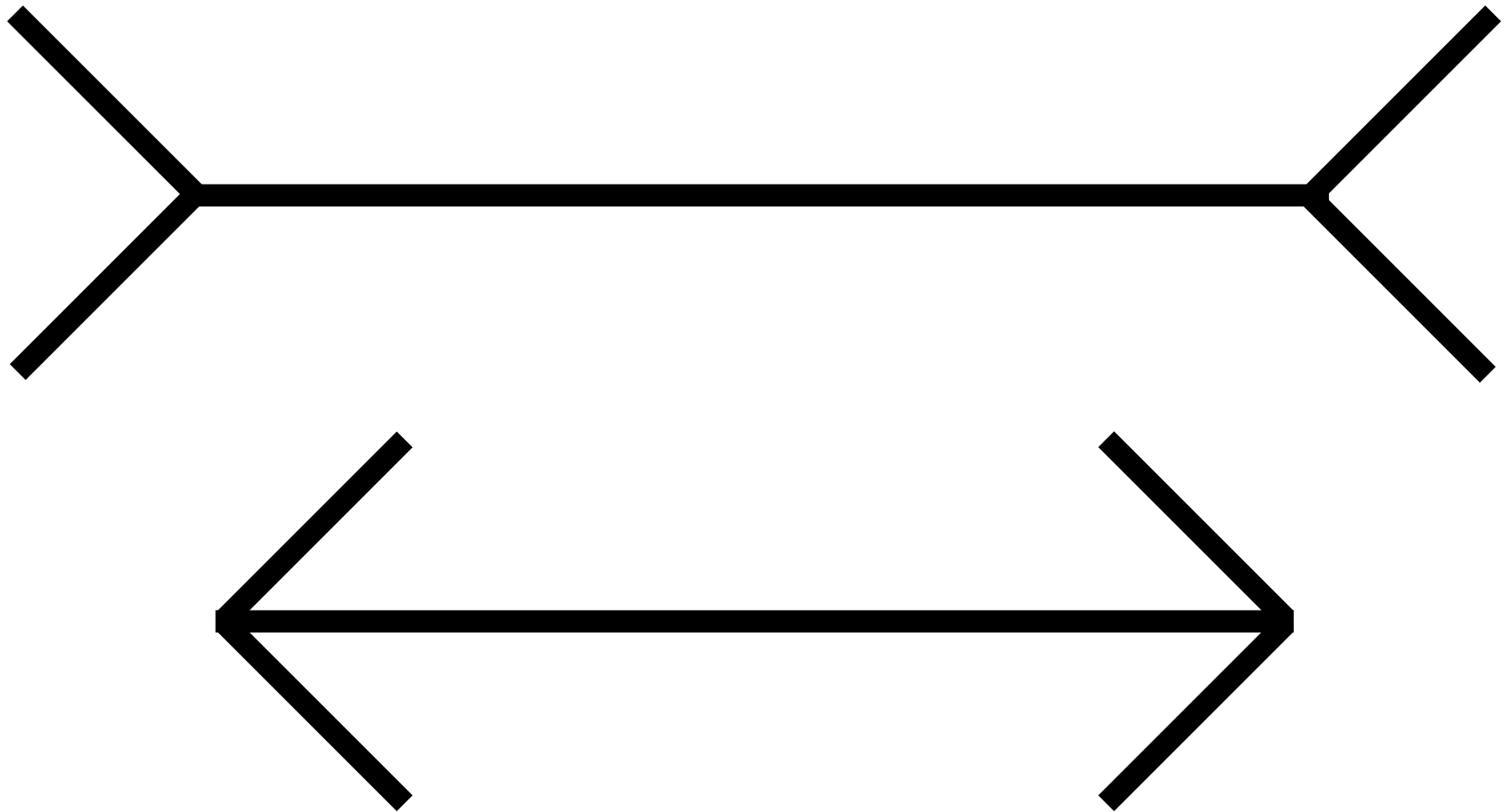
Action 行動する

Action 行動する

Action 行動する

ウォーミングアップ

どちらが長い？



どちらが長い？



どちらが長い？



どちらが長い？



机に座っていても

社会の問題は

解決できない

RULE (心がまえ)

Action 行動する

Action 行動する

Action 行動する

グループワーク <<前半>>

ESD実践の
成果・課題を
わかちあう

グループワーク《前半》の流れ

- ① 4人組をつくる
- ② 自己紹介
- ③ 個人ワーク・シェア
- ④ 模造紙への貼出・整理

①4人組をつくる ②自己紹介

同じセクター(立場)で

前後左右の人と

4人組をつくり

1人1分の自己紹介

③個人ワーク・シェア

成果・課題の抽出（個人ワーク：7分）

【成果】

ESD実践活動を通して、▲▲と一緒に「ESDを広げる、深める」ができたこと

【課題】

ESDfor2030に向けて、◆◆と一緒に取り組みたいこと

【例】学校及び学校教育行政等

【成 果】

【課 題】

【例】学校及び学校教育行政等

【成果】

- ＊子どもとの学びあい、資質
・能力向上、地域での活躍
- ＊地元NPOと連携した地域
に開かれた学校づくり
- ＊社会教育施設の見学を通じ
たESD環境学習
- ＊学校同士の情報交換や勉
強会
- ＊教育委員会がマルチステー
クホルダーとESDの普及啓
発や人材育成 など

【課題】

【例】学校及び学校教育行政等

【成果】

- ＊子どもとの学びあい、資質・能力向上、地域での活躍
- ＊地元NPOと連携した地域に開かれた学校づくり
- ＊社会教育施設の見学を通じたESD環境学習
- ＊学校同士の情報交換や勉強会
- ＊教育委員会がマルチステークホルダーとESDの普及啓発や人材育成 など

【課題】

- ＊研究者や先進校と新学習指導要領をふまえたESDカリキュラムマネジメント
- ＊幼・小・中の連携を通じたESDの取組継続
- ＊学校内外の関係者とESDの視点から教職員の働き方改革に取り組む
- ＊専門家や企業と一緒に探求学習のSDGs教材を開発する
- ＊地域の自主防災組織と連携して防災・減災のESDプログラムを展開する など

③個人ワーク・シェア

成果・課題の抽出（個人ワーク：7分）

【成果】

ESD実践活動を通して、▲▲と一緒に「ESDを広げる、深める」ができたこと

【課題】

ESDfor2030に向けて、◆◆と一緒に取り組みたいこと

③個人ワーク・シェア

成果・課題のグループ共有（1人1分）

【成果】

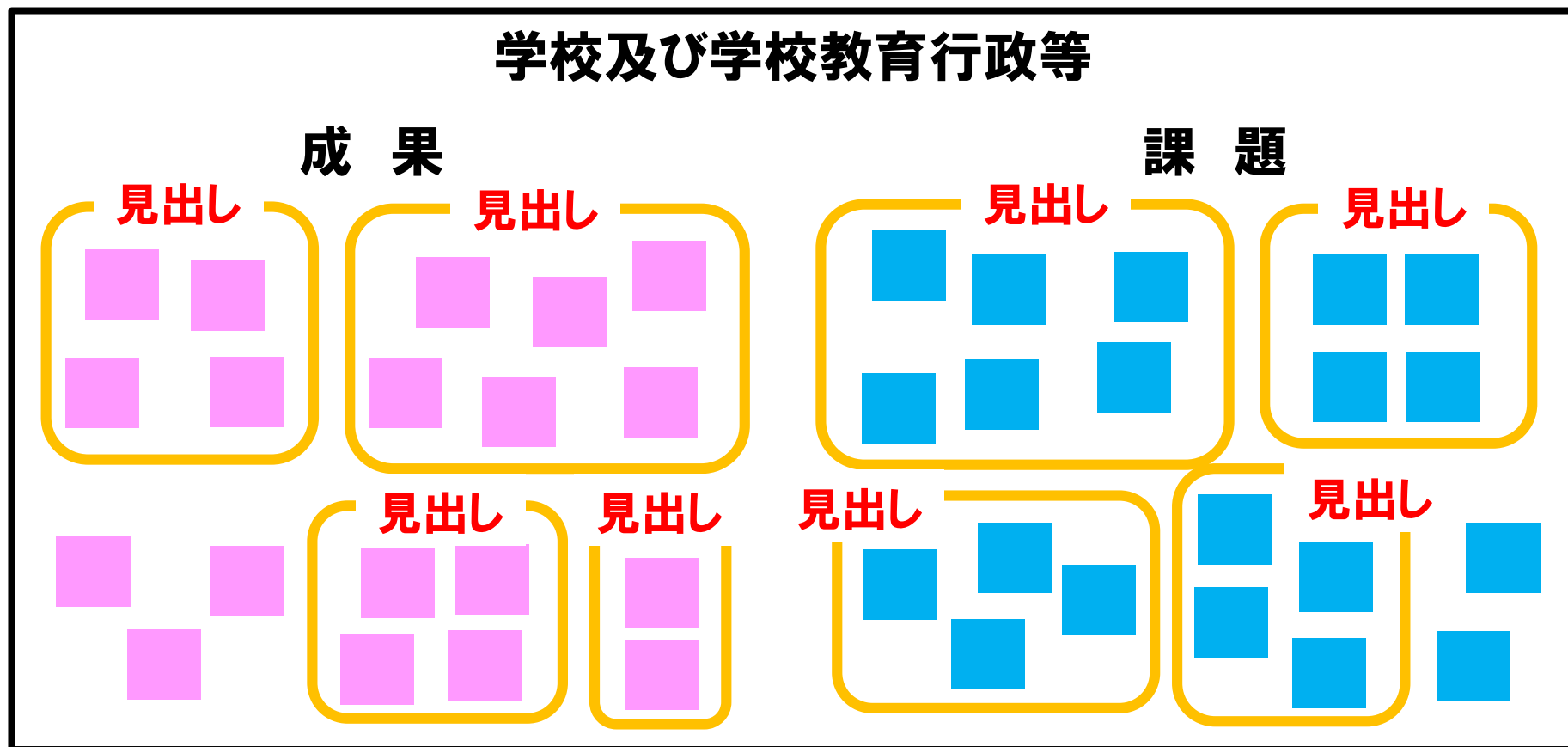
ESD実践活動を通して、▲▲と一緒に「ESDを広げる、深める」ができたこと

【課題】

ESDfor2030に向けて、◆◆と一緒に取り組みたいこと

④模造紙への貼出・整理

協力してグルーピング・見出しをつける



グループワーク <<後半>>

2030年に向けて

ESDで

目指すことを探る

グループワーク《後半》の流れ

- ① グループ(4人組)
ディスカッション
- ② 全体共有

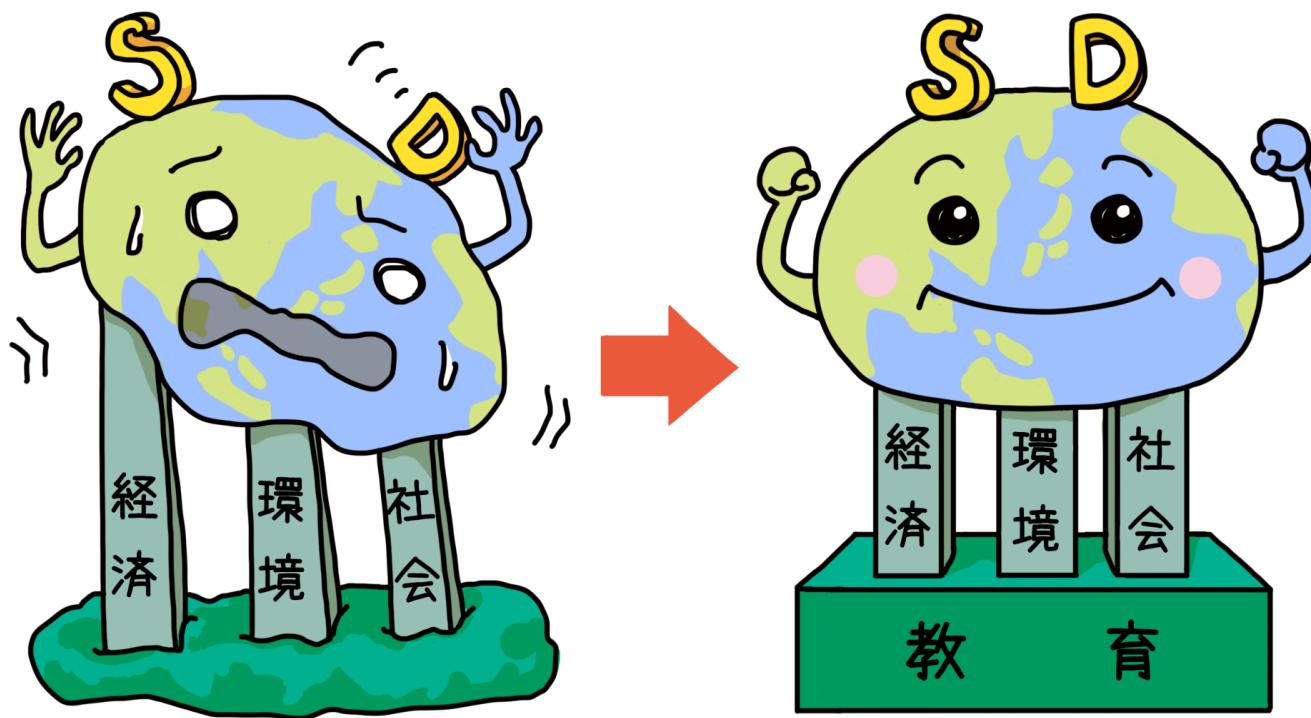
①グループディスカッション

ディスカッションと付箋の貼出（15分） ～ゆるやかな合意形成～

【ESD推進ネットワークを通して
2030年に達成したいこと】

- ＊目指す社会の具体像
- ＊ESD推進ネットワークのあり方
- ＊解決したい地域課題 など

ESDは、目的か手段か！？



GAP（グローバル・アクション・プログラム）

- ① **政策的支援**（ESDに対する政策的支援）
- ② **機関包括型アプローチ**
（ESDへの包括的取組）
- ③ **教育者**（ESDを実践する教育者の育成）
- ④ **ユース**（ESDへの若者の参加の支援）
- ⑤ **地域コミュニティ**
（ESDへの地域コミュニティの参加の促進）

ESD推進ネットワークの4つのはたらき

- ① 情報の収集・発信
- ② ESD支援体制の整備
- ③ ネットワーク形成と
学び合いの促進
- ④ 人材育成

SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



日本のSDGs達成度

▼ CURRENT ASSESSMENT – SDG DASHBOARD



■ Major challenges ■ Significant challenges ■ Challenges remain ■ SDG achieved ■ Information unavailable

- 赤** :最大の課題
- オレンジ** :重要課題
- 黄色** :課題が残っている
- 緑** :SDGsが達成できている

新学習指導要領

学習指導要領改訂の方向性

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「**社会に開かれた教育課程**」の実現

各学校における「**カリキュラム・マネジメント**」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない※

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「**アクティブ・ラーニング**」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得
など、新しい時代に求められる
資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い
理解を図るための学習過程
の質的改善

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

※高校教育については、些末な事実に基づく知識の暗記が大学入学選抜で問われることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革を進める。

地域循環共生圏



社会の変化

Society 5.0 for SDGs

Keidanren
Policy & Action

Society 5.0は「課題解決」と「未来創造」の視点を兼ね備えた新たな成長モデル
さらには、国連で掲げられたSDGsの達成にも大いに貢献するもの



経団連はSDGsを支援しています。

《後半》 2030年に向けてESDで目指すことを探る



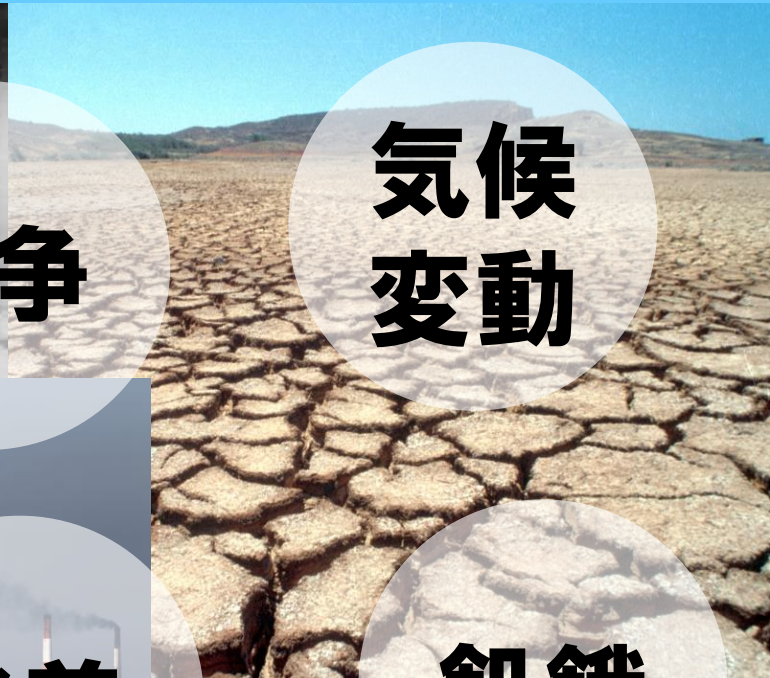
貧困




人権
抑圧




戦争



気候
変動



過剰
消費




資源
枯渇




格差




飢餓



種の
絶滅



ジェンダー
不平等



ワーキング
プア





SKOLSTREJK
FÖR
KLIMATET

**KLIMATE
JUSTICE!**

人口減少・高齢化

自給率

エネルギー

IoT・AI・5G

貧困格差

過密化・過疎化

虐待・いじめ

医療・介護

働き方改革

災害多発

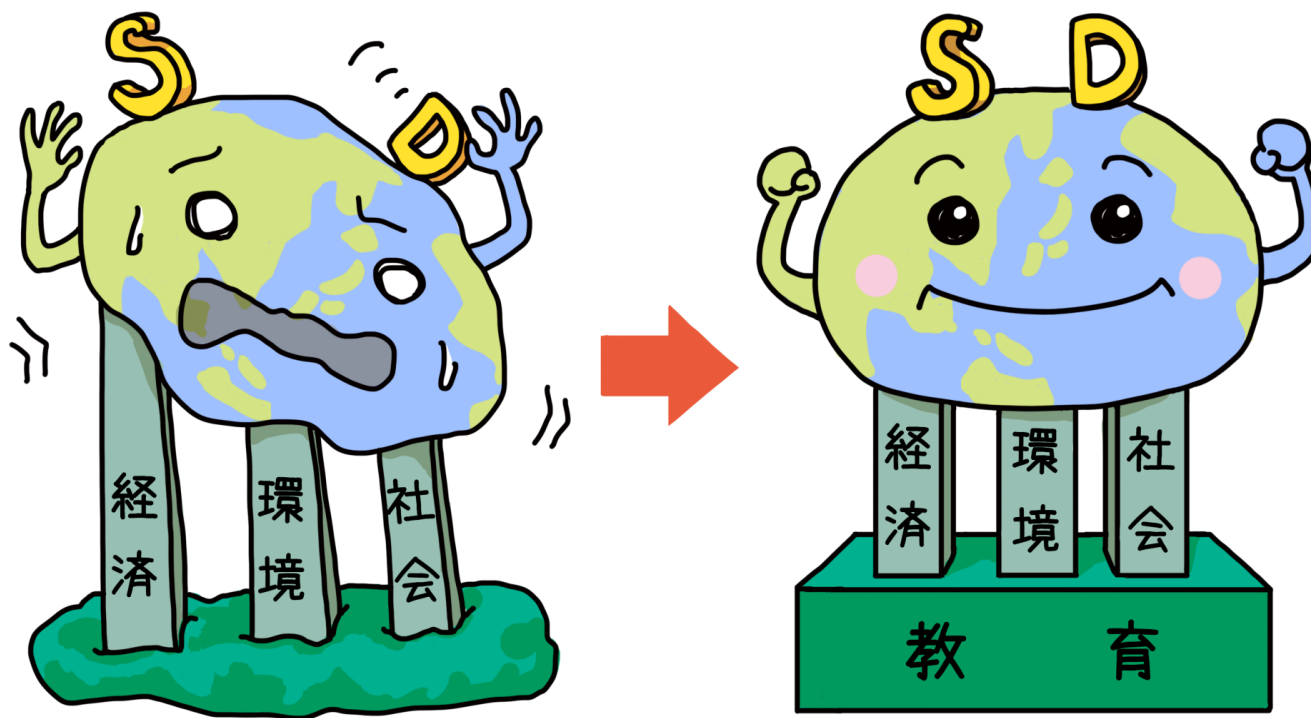
8050問題

安全保障

国際化・多文化共生

まち・ひと・しごと創生

ESDで何をを目指すのか！？



①グループディスカッション

ディスカッションと付箋の貼出（15分） ～ゆるやかな合意形成～

**【ESD推進ネットワークを通して
2030年に達成したいこと】**

- ＊目指す社会の具体像
- ＊ESD推進ネットワークのあり方
- ＊解決したい地域課題 など

①グループディスカッション

ディスカッションと付箋の貼出（15分）

学校及び学校教育行政等

成果 課題

見出し 見出し 見出し 見出し

見出し 見出し 見出し 見出し

②全体共有

各セクターからトピック発表(1分ずつ)

【ESD推進ネットワークを通して
2030年に達成したいこと】

- * 目指す社会の具体像
- * ESD推進ネットワークのあり方
- * 解決したい地域課題 など



セッション3

ありがとうございました

→ ESD for 2030

